

ひと まち 輝く

キラリ

kirari

箕面市立みのお市民活動センター

(指定管理者:(特活)市民活動フォーラムみのお)

〒562-0013 箕面市坊島4-5-20

みのおキューズモールWEST1-2F

TEL. 072-720-3386 FAX. 072-720-3387

<http://www.shimink.jp/>

Vol. 9

令和3年(2021年)10月発行



トピック

豊かな学びを子どもたちの成長と
未来へつなぐ

気軽に始めてみませんか?
互いに学び合い、聞き合い、
元気になる「場」づくり

箕面こどもの森学園
スタッフ 佐野純さん

豊かな学びを子どもたちの成長と未来へつなぐ

コロナ禍や相次ぐ自然災害により私たちの暮らしは急変。これまでの常識が非常識になり、ひとりひとりの命の重さを改めて感じるようになりました。生き方や働き方を見直し「自分らしく生きたい」と考える人も増えています。しかし、画一的な傾向にある日本の社会において実際に『自分らしく』『自然体』で生きるのはそう簡単でもありません。今回は、『自分らしさ』を尊重する教育方針で、子どもたちの豊かな学びを育てている、箕面こどもの森学園のスタッフである佐野純さんにお話をお聞きしました。

「箕面こどもの森学園(以下、こどもの森)」は「認定NPO法人コクレオの森」が運営するオルタナティブスクールで、子どもたちの自律的・主体的な学びを尊重した教育を行う学校です。そこで佐野さんは中学部を担当していますが、こどもの森ではいわゆる学校教育現場における教師というスタンスではないため“スタッフ”といい、子どもたちとフラットな関係性をもっています。

「自分がはじめたのではなく、うまく巻き込まれたんですが」

佐野さんは、こどもの森のスタッフになる前は学習塾で働いていたそうですが、元々教育への意識が高かったからというわけではなく、大学卒業後の進路を考えた時にピンとくるものがなくて、そのころ学習塾でアルバイトをしていた流れと集団指導もやってみたいという興味から何となく教育の方向へ進みました。けれど、いざやってみると思っていたものと違って、結局3年で退職。

「業界的には当たり前なんでしょうが、ビジネス的でどうしても子どもを数字的に見る面があり、それに馴染めませんでした。」と佐野さん。

その頃よくSNSで『不登校』や『フリースクール』など気になる言葉を検索していたところ、教育というものには自分が思っていたよりもっと広い意味、多様な学び方があると気づきました。さらにその気づきを深めていくなかで上越教育大学の西川純さんが提唱する『学び合い』(子どもたちは誰しも学ぶ力をもっていて、お互いに教え合い学び合うことでクラス全員が目標を達成できるようにクラスづくりの考え方)を知り感銘を

受けました。また、SNSでつながった人が『学び合い』を導入した学習塾の運営者を探していたのでやってみることに。その塾の場所を使っているいろいろな学びの場を開催するなど自分がしたいことに挑戦できましたが、経営的には厳しい状況だったそうです。けれど時間はあったので自分自身もいろいろな学びの場に参加していた中で、こどもの森のことを知りました。

その後、関西で多様な学びを広げるフォーラムの実行委員会に参加したところ、こどもの森のスタッフたちも参加していたことから関係が深まりました。さらにその後塾の経営が立ち行かず辞めてしまった頃にこどもの森で開催されていた『哲学キャンプ』に参加し、現校長のMさんと話す機会があってそのことを伝えると、インターンのような形で週1回スタッフとして関わってみたいかと誘われました。面白そうだと感じたので他でアルバイトをしながらスタッフをはじめました。そのころちょうど中学部を立ち上げる話が出て、声をかけてもらい中学部のスタッフをやってみることに。中学部の準備会は月一頻度でミーティングがあり忙しかつたのですが、塾の講師をしていた頃の違和感が解け、面白さを感じました。そうして準備会参加から約1年後の中学部開設を機にアルバイトを辞め、こどもの森の常勤スタッフになりました。

かつての自分のような子どもたちに届けたい

中学高校は進学校に通っていたという佐野さん。この頃は友人関係に恵まれて毎日楽しく過ごしていたものの、内面

的にはとてもしんどかったそうです。「成績は常に底辺で、生きる希望ももてなかった。自殺願望はなかったけど自分自身を大切に思う気持ちもなかった。世の中で誰かが事故とかで死ぬなら代わりに自分が死ねばいいとか思ってたんです。自己肯定感がとても低かったんだと思う。」と当時を振り返ります。

こどもの森はフランスのフレネ教育に沿っていて、多様性を尊重し、子どもたちの興味関心によって学びをつくっていて、ひとりひとりの学びを大切にしています。こういう場を心地よく感じていて、豊かな学びの重要性を自分自身の経験からも感じているそうです。

「もともと人と関わるのは好きです。コクレオの森の『コクレオ』は『ともにつくる』という意味。その意味のとおり、ともに豊かな学びをつくりひろげていきたいと考えています。自身の経験、かつての自分のように苦しんでいる子、他の選択肢もあるという発想に至らない子に届けたい。他の選択肢を知らないと、がんばり続けるか不登校かになってしまう。こどもの森は課題意識をもった市民たちがつくった学校というひとつのモデルケース。こういうのがいろいろなところに拡がりつながってほしいなと思います。」と柔らかな物腰ながらも熱く語る佐野さん。

多様性を尊重しあえる社会に向かい、豊かな学びを子どもたちの成長と未来へつなぐという目標をもって前進する佐野さんの益々の活躍に期待が膨らみます。



認定NPO法人

コクレオの森

コクレオの森 Information

認定NPO法人 コクレオの森

住所: 大阪府箕面市小野原西6-15-31

連絡先: TEL 072-735-7676 HP: <https://cokreono-mori.com/>

